

消防概況

[令和3年版]



久御山町消防本部

目 次

久御山町の概要	1
久御山町の位置	2
久御山町の管内図	3
人口と世帯数の推移	4
久御山町消防の沿革	5～11
過去の主な災害等	12
久御山町消防の組織機構	13
久御山町消防の事務分掌	14
久御山町消防費予算	15
消防職員の配置状況	16
消防職員の勤続年数別・年齢別状況	17
消防団員の勤続年数別・年齢別状況	18
消防車両等配置状況	19
消防車両等の状況	20
通信系統図	21
防火対象物の状況	22
防火対象物にかかる消防用設備等の設置状況	23
危険物施設の状況	24
火災統計〔年別火災概要〕	25
救急統計〔年別救急概要〕	26
救助統計〔年別救助概要〕	27
消防水利の状況	28

久御山町の概要

久御山町は、京都の都心部から南へ約15km、山城盆地の南西部に位置し、東は、宇治市、城陽市、西は八幡市に隣接しています。

町域の大部分は、宇治川と木津川に挟まれた平たんな低地にあつて、南から北へ緩やかに傾斜しています。

もともと農業中心の町でしたが、枚方バイパス（現国道1号）が町の中央部を南北に開通した昭和41年ごろから、急速に町の様相が変貌してきました。

東部には国道24号が南北に通っており、昭和63年9月京都国体開催前には、京滋バイパスが、滋賀県まで開通し、町内で国道1号、国道24号と接続されました。

京都市内や大阪の至近距離に位置する地理的優位性から、諸産業の進出には目覚ましいものがあり、国道1号を挟んで、西部は近郊農業が行われ、町中央部は整然とした工業地域が、東部では宅地開発が進み、市街地が形成され、北部には巨椋池干拓田が広がっています。

また、久御山ジャンクションを中心として、平成15年の第二京阪道路や平成20年の阪神高速8号京都線（平成31年、NEXCO西日本に移管され現在第二京阪道路）の開通により久御山町を取り巻く立地環境は大きく変貌しました。

位 置

東経 135度43分 6秒

北緯 34度52分53秒

町 域

東西 3.5km 南北 4.3km

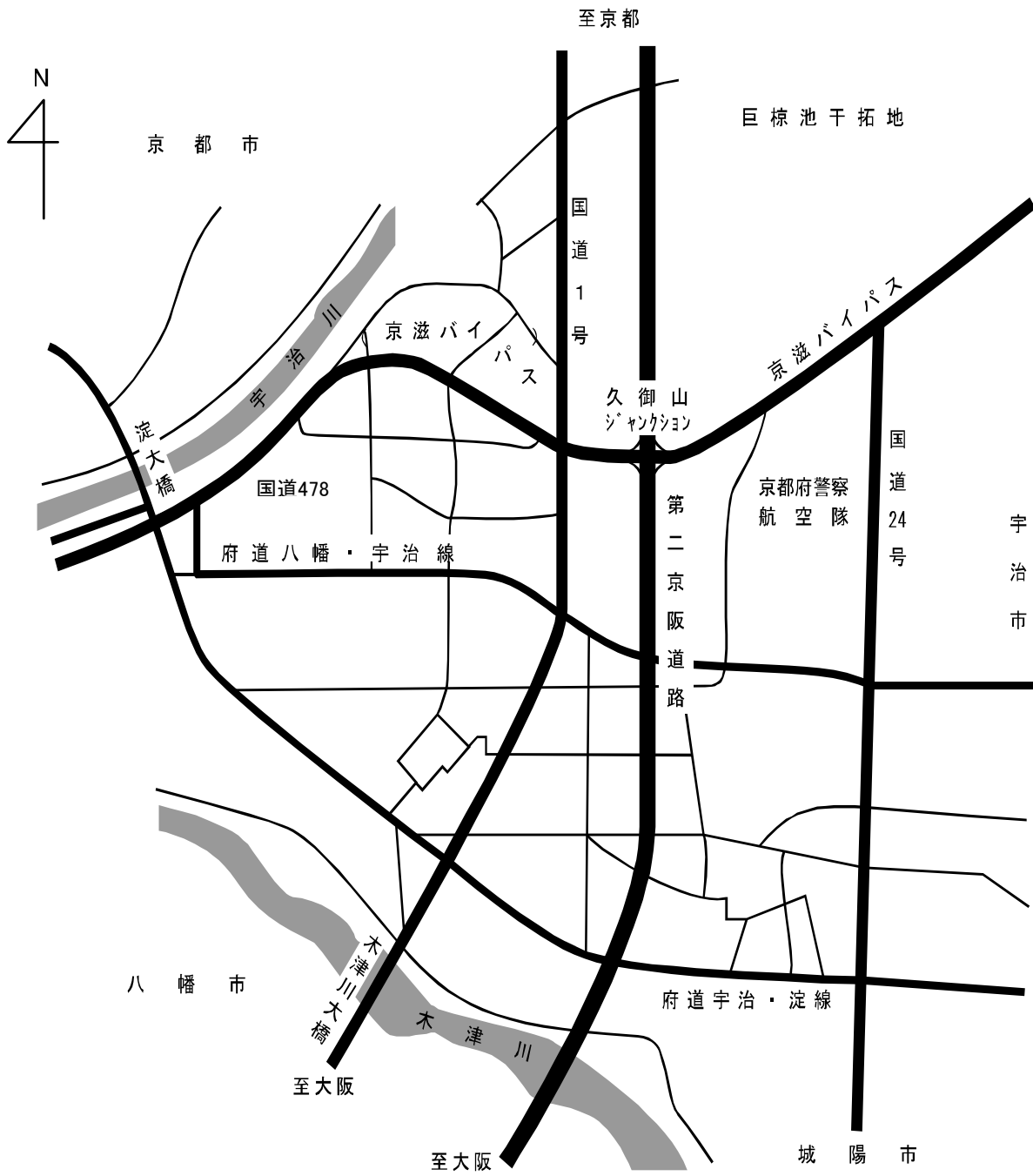
総面積 13.86km²



久御山町の位置



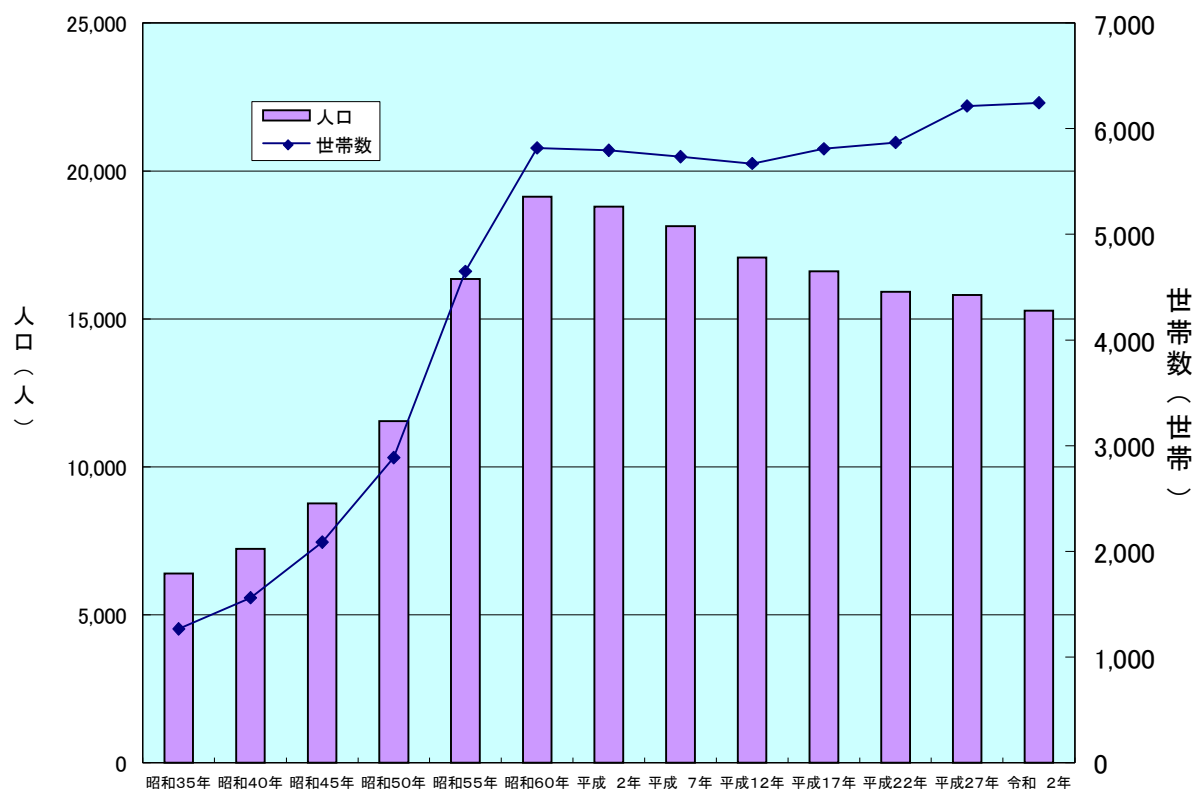
久御山町の管内図



人口と世帯数の推移

(各年10月1日現在)

人口	世帯数	人口			人口の増減	一世帯当たりの人口	人口密度	備考
		総数	男	女				
昭和35年	1,268	6,400	3,092	3,308		5.05	462	国勢調査
昭和40年	1,562	7,231	3,574	3,657	831	4.63	522	国勢調査
昭和45年	2,087	8,766	4,423	4,343	1,535	4.20	632	国勢調査
昭和50年	2,887	11,540	5,926	5,614	2,774	4.00	833	国勢調査
昭和55年	4,650	16,345	8,313	8,032	4,805	3.52	1,179	国勢調査
昭和60年	5,818	19,136	9,851	9,285	2,791	3.29	1,381	国勢調査
平成2年	5,795	18,798	9,605	9,193	△338	3.24	1,356	国勢調査
平成7年	5,736	18,133	9,155	8,978	△665	3.16	1,308	国勢調査
平成12年	5,672	17,080	8,493	8,587	△1,053	3.01	1,232	国勢調査
平成17年	5,811	16,610	8,172	8,438	△470	2.86	1,198	国勢調査
平成22年	5,870	15,914	7,780	8,134	△696	2.71	1,148	国勢調査
平成27年	6,216	15,805	7,697	8,122	△95	2.54	1,140	国勢調査
令和2年	6,246	15,280	7,433	7,847	△525	2.45	1,102	国勢調査



久御山町消防の沿革

年 月 日	事 項	項
昭. 29. 10. 1	久御山町誕生（久世郡御牧村・佐山村の2村が合併） 初代久御山町長 田村義雄氏 （人口 6,558人 面積 13.9k㎡） 久御山町消防団規則制定 初代団長 田中正三氏 2分団制 団員数 181人	
昭. 30. 4. 30 10. 1 12. 14	2代久御山町長 西村正作氏 国勢調査（人口 6,524人 1,225世帯） 消防ポンプ車	第1分団第1部に配置
昭. 31. 5. 1 12.	2代団長 大曾根幸也氏 財政再建団体に指定される	
昭. 32. 4. 1	小型消防ポンプ	第1分団第4部に配置
昭. 33. 10. 15	小型消防ポンプ 2台	第1分団第1部に配置 第2分団第4部に配置
昭. 35. 3. 10. 1	財政再建団体の指定とける 国勢調査（人口 6,400人 1,268世帯）	
昭. 36. 9. 10	小型消防ポンプ 2台	第1分団第2部に配置 第2分団第2部に配置
昭. 37. 1. 5 3. 26 3. 31 9. 1 10. 1	小型消防ポンプ 京都市と消防応援協約締結 宇治市及び城陽町と消防相互応援協約締結 久御山町火災予防条例制定 普通ポンプ車 ニッサンFRB140	第2分団第1部に配置 第1分団第4部に配置
昭. 38. 4. 30	4代久御山町長 澤野平右衛門氏	
昭. 39. 10. 5	久御山町消防団 京都府消防協会長機関表彰査閲（調査）	
昭. 40. 1. 8 3. 1 9. 1 10. 1 11. 1	久御山町消防団 京都府消防協会長機関表彰旗受賞 消防団員 分団長2人増員 消防団員 副分団長2人増員 国勢調査（人口 7,231人 1,562世帯） 久御山町消防団 京都府知事竿頭授受賞	団員数 183人 団員数 185人
昭. 41. 1. 19 3. 9. 3	5代久御山町長 鵜ノ口平太郎氏 国道1号枚方バイパス開通 消防ポンプ車 ニッサンFR40	第1分団第1部に配置
昭. 42. 7. 29	久御山町消防団員等公務災害補償条例制定	
昭. 43. 3. 15 3. 30 4. 1 8. 1	久御山町消防団設置条例制定 久御山町消防団定員、任免、服務条例制定 久御山町消防団の組織等に関する規則制定 久御山町役場企画広報課に消防係設置 小型消防ポンプ 2台	第2分団第1部に配置 第2分団第3部に配置
昭. 44. 2. 11 8. 1	久御山町消防団 日本消防協会長機関表彰旗受賞 小型消防ポンプ	第1分団第1部に配置
昭. 45. 2. 12 4. 1	消防庁舎（旧）竣工（鉄骨2階建174㎡） 消防職員1人採用	

昭. 45.	5.	1	全国消防長会東近畿支部入会		
	8.	1	消防職員 1 人採用	職員数 2 人	
	9.	1	京都府南部地域消防応援協定締結	京都市他 2 2 市町	
	10.	1	国勢調査 (人口 8,766人 2,087世帯)		
	10.	11	小型消防ポンプ 2 台	第 1 分団第 3 部に配置 第 2 分団第 2 部に配置	
昭. 46.	4.	1	消防職員 1 人採用	職員数 3 人	
	8.	1	消防職員 1 人採用	職員数 4 人	
	9.	3	小型消防ポンプ	第 1 分団第 4 部に配置	
昭. 47.	3.	11	久御山町消防本部設置条例制定		
	4.	1	消防本部の任意設置 名称「久御山町消防本部」 初代消防長 助役 西尾佐一氏		
	4.	1	消防職員 2 人採用	職員数 6 人	
	4.	7	査察用バイク ホンダC90Z 1 台配置		
	6.	6	町人口 10,000人突破		
	6.	8	久御山町消防本部組織規則制定		
昭. 48.	4.	1	消防職員 2 人採用	職員数 8 人	
			国道 2 4 号大久保バイパス開通		
	9.	19	救急車 トヨタ2B配置 (日本消防協会)		
	10.	15	救急業務開始に伴う直通電話設置		
	11.	1	消防職員 2 人採用	職員数 10 人	
	11.	20	久御山町救急活動規程制定		
	12.	1	救急業務開始 救急隊設置 名称「久御山町救急隊」		
昭. 49	3.	1	査察広報車 ホンダライフライトバン 360cc配置 (日本中央競馬会)		
	3.	4	消防専用無線設置 [基地局-1、移動局-3、携帯局-1] (市町村波 149.63MHZ 府内共通波 148.21MHZ)		
	4.	1	3 代団長 石井幸男氏		
			消防職員 7 人採用	職員数 17 人	
	5.	16	水槽付消防ポンプ車 ニッサンFS-780配置		
	5.	30	久御山町消防本部及び消防署設置等条例改正		
	5.	31	久御山町消防署組織規程制定		
	6.	1	久御山町消防本部 (署) 政令指定を受け「久御山町消防署」設置		
	6.	2	2 代消防長 藤井光好氏	職員数 18 人	
	7.	1	消防署勤務体制 3 部制導入		
	7.	27	久御山町消防賞じゅつ金条例制定		
	8.	1	全国消防長会入会		
	10.	28	久御山町消防通信規程制定		
	12.	2	消防職員 4 人採用	職員数 22 人	
	12.	26	査察用バイク 2 台配置 ホンダ50cc		
昭. 50.	4.	1	消防団第 1 分団第 5 部設置 (2 分団 9 部)		
			消防職員 2 人採用	職員数 25 人	
	4.	11	普通ポンプ車 ニッサンFH60配置 (日本中央競馬会)		
	5.	1	全国消防協会入会		
	5.	26	京都府危険物安全協会久世郡支部設立		
	7.	1	綴喜郡八幡町と消防相互応援協約締結		
	7.	12	久御山町危険物規制規則制定		
	8.	13	久御山町消防庁舎起工		
	9.	9	1 6 m級屈折はしご付消防ポンプ車 三菱FP101J配置		
	10.	1	国勢調査 (人口11,540人 2,887世帯)		
昭. 51.	3.	29	新消防庁舎竣工 事業費 167,500,000円 鉄筋コンクリート造 2 階建 (一部 5 階建) 1,269.2㎡		
	5.	26	久御山町防火管理者連絡協議会設立		
	10.	1	消防職員 4 人採用	職員数 29 人	
	11.	12	指令車 トヨタクワックン2000cc配置		
	11.	24	救急車 トヨタ2B配置		
昭. 52.	1.	30	消防団第 2 分団第 2 部	消防器具庫新築	

昭. 53.	1.	30	消防団第1分団第2部	消防器具庫新築
	3.	1	消防団第2分団第4部	消防器具庫新築
	8.	11	小型消防ポンプ	第1分団第1部に更新配置
	9.	10	消防団第1分団第1部	消防器具庫新築
	10.	1	小型消防ポンプ	第2分団第2部に更新配置
昭. 54.	2.	26	査察用バイク ホンダ50cc 1台配置	
	2.	27	査察広報車 トヨタカラー更新配置	
	3.	14	久御山町消防団第1分団 京都府知事竿頭授受賞	
	3.	15	久御山町警防活動規程制定	
			久御山町火災原因及び損害調査規程制定	
			消防団第2分団第2部	消防器具庫新築
	4.	3	消防職員1人採用	職員数30人
	4.	7	久御山町消防本部組織規則改正 庶務、予防、警防、施設の4係制	
			久御山町消防署組織規程改正 庶務、予防、警防第1、警防第2、警防第3の5係制	
	4.	17	消防職員1人採用	職員数31人
	5.	10	小型消防ポンプ 2台	第2分団第1部に更新配置 第2分団第3部に更新配置
	11.	9	久御山町消防団第2分団 京都府知事竿頭授受賞	
昭. 55.	1.	15	消防団第2分団第3部	消防器具庫新築
	2.	28	消防救急指令装置C型設置	
	4.	1	消防職員3人採用	職員数34人
	9.	1	久御山町消防団規則改正	
			久御山町消防団の組織等に関する規則改正	(2分団10部制)
	10.	1	国勢調査 (人口 16,345人 4,650世帯)	
	12.	10	消防団第1分団第4部	消防器具庫新築
昭. 56.	3.	5	査察用バイク ホンダ50cc 1台配置	
	4.	1	消防団作業服新調	
	11.	4	大阪ガス株式会社と保安対策申し合せ事項締結	
	12.	10	消防団制服新調	
昭. 57.	3.	23	小型動力ポンプ	第1分団第4部に配置
	4.	1	4代団長 岡井繁昌氏	
	6.	17	小型消防ポンプ	第2分団第3部に更新配置
昭. 58.	3.	2	久御山町消防本部・久御山町消防団 消防庁長官表彰「竿頭授」受賞	
	7.	1	査察用バイク ホンダ50cc 1台配置	
	12.	3	消防団第2分団第5部	消防器具庫移設新築
	12.	6	普通ポンプ車 イスズCD-I型配置	
昭. 59.	4.	1	久御山町消防本部組織規則改正 総務課、予防課、警防課の3課5係制	
			久御山町消防署組織規程改正 庶務、予防、警備第一、警備第二、警備第三の5係制	
	4.	23	査察用バイク ホンダ50cc 1台更新配置	
	10.	23	消防大学校警防科 消防職員1名研修派遣	
昭. 60.	3.	11	救急車(2B)更新配置 ニッサンキャラバン2000cc (日本損害保険協会)	
	6.	1	消防大学校上級幹部科 消防職員1名研修派遣	
	10.	1	国勢調査 (人口 19,136人 5,818世帯)	
	10.	23	小型消防ポンプ	第1分団第5部に更新配置
	12.	2	化学車I型配置 日野レンジャー(水槽車を更新)	
昭. 61.	4.	1	5代団長 奥田富和氏	
	4.	2	消防大学校幹部研修科 消防職員1名研修派遣	
	9.	25	小型消防ポンプ 2台	第1分団第2部に更新配置 第2分団第4部に更新配置
	11.	12	指令車 更新配置 ニッサンセトリック2000cc	
昭. 62.	5.	11	査察用バイク ホンダ50cc 1台更新配置	

昭. 62.	6.	1	消防本部作業服新調 (グリーン系から紺色へ) 小型消防ポンプ 2 台	第 1 分団第 3 部に更新配置 第 2 分団第 2 部に更新配置
	8.	30	町長査閲第 1 回久御山町消防操法大会開催	
昭. 63.	3.	25	消防団第 2 分団第 2 部	消防器具庫・防火水そう 移設新築
	4.	1	消防職員 3 人採用	職員数 37 人
	8.	29	1 1 代久御山町長 田口清氏 一般国道 1 号京滋バイパス消防応援協定締結	
	9.	16	小型消防ポンプ	第 2 分団第 5 部に更新配置
	10.		「京都国体秋季大会」	
	11.	10	救急車 (2B) 更新配置 ニッサンキャラバン2000cc	
平. 元.	1.	8	昭和天皇崩御のため、消防出初式を取り止め、消防表彰式として実施	
	4.	1	3 代消防長 高村静治氏	
	5.	22	査察用バイク ホンダ50cc 1 台更新配置	
	9.	3	町長査閲第 2 回久御山町消防操法大会開催	
	9.	27	消防大学校上級幹部科 消防職員 1 名研修派遣	
	10.	1	町制施行 35 周年記念式典 [田口町長が平和都市宣言]	
	11.	23	「ふるさとフェア久御山」	
	12.	1	京都府広域消防相互応援協定締結	
	12.	22	査察広報車更新配置 ニッサンパネット1500cc	
平. 2.	6.		福祉電話設置	
	10.	1	国勢調査 (人口 18,798人 5,795世帯)	
	11.	11	久御山町消防本部・消防団 消防庁長官優良消防機関表彰調査 (町長査閲)	
平. 3.	3.	6	消防庁長官表彰旗受賞	
	3.	24	消防庁長官表彰旗受章披露式式典	
	8.	25	町長査閲第 3 回久御山町消防操法大会開催	
平. 4.	1.	8	消防大学校幹部研修科 消防職員 1 名研修派遣	
	4.	1	6 代団長 鶴ノ口均氏 消防職員 2 人採用	職員数 38 人
	8.	31	第 1 2 回京都府消防操法大会 第 2 分団第 4 部第 4 位入賞	
	12.	1	綴喜郡田辺町と消防相互応援協定締結	
平. 5.	4.	6	消防大学校幹部研修科 消防職員 1 名研修派遣	
	6.	27	消防団活性化事業の一環として第 1 回厚生事業スポーツ大会 (グラウンドゴルフ大会を実施)	
	8.	9	町長査閲第 4 回久御山町消防操法大会開催	
	9.	19	久御山町総合防災訓練の実施	
	10.	12	救急救命士養成に救急救命東京研修所へ消防職員 1 名研修派遣	
	10.	29	小型消防ポンプ 2 台	第 1 分団第 1 部に更新配置 第 2 分団第 2 部に更新配置
平. 6.	6.	1	救急救命士 1 名誕生	
	6.	14	NTT デジタル交換機切替えにより「119」受信開始	
	9.	12	救急救命士養成に京都市救急教育訓練センターへ消防職員 1 名研修派遣	
平. 7.	3.	20	高規格救急車配置 ニッサンU-UG4YH41改	
	4.	1	4 代消防長 南正義氏	
	6.	1	救急救命士 1 名誕生	
	9.	1	町長査閲第 5 回久御山町消防操法大会開催	
	10.	1	国勢調査 (人口 18,133人 5,736世帯)	
	10.	4	救急救命士養成に救急救命九州研修所へ消防職員 1 名研修派遣	
	12.	22	30m 級はしご付消防ポンプ車配置 日野MLFH-4-30R (16m 級屈折はしご付消防ポンプ車の更新)	
平. 8.	6.	1	救急救命士 1 名誕生	
	6.	28	小型消防ポンプ搬送車購入 (2 台) ダイハツハゼット 4WD	第 1 分団第 4 部に配置 第 1 分団第 5 部に配置
	9.	9	救急救命士養成に京都市救急教育訓練センターへ消防職員 1 名研修派遣	

平. 9.	1.	8	消防大学校幹部研修科 消防職員 1 名研修派遣	
	2.	1	小型消防ポンプ 2 台	第 2 分団第 1 部に更新配置 第 2 分団第 3 部に更新配置
	3.	25	宇治久世医師会と協定締結 「災害医療救護活動に関する協定」 「集団救急事故等に伴う医師等の協力に関する協定」	
	4.	1	消防職員 2 人採用	職員数 3 7 人
	6.	1	救急救命士 1 名誕生	
	8.		全国高校「京都総体」	
	8.	31	町長査閲第 6 回久御山町消防操法大会開催	
	10.	6	救急救命士養成に救急救命東京研修所へ消防職員 1 名研修派遣	
平. 10.	4.	1	携帯電話からの「119」受信運用開始	
	6.	1	救急救命士 1 名誕生	
	10.	8	救急救命士養成に救急救命東京研修所へ消防職員 1 名研修派遣	
平. 11.	2.	28	小型消防ポンプ 2 台	第 1 分団第 4 部に更新配置 第 2 分団第 3 部に更新配置
	4.	1	5 代消防長 鶴ノ口彦行氏 消防職員 1 人採用	職員数 3 7 人
	6.	1	救急救命士 1 名誕生	
	8.	29	町長査閲第 7 回久御山町消防団消防訓練大会開催	
	9.	13	救急救命士養成に京都市救急教育訓練センターへ消防職員 1 名研修派遣	
	12.	5	久御山町消防団「女性消防団」発足 (10 名)	定員 1 9 5 人
平. 12.	4.	5	消防大学校幹部研修科 消防職員 1 人研修派遣	
	6.	1	救急救命士 1 名誕生	
	8.	28	1 4 代久御山町長 坂本信夫氏	
	9.	27	消防ポンプ自動車更新配置 (CD-I) モリタ	
	10.	1	国勢調査 (人口 17,080 人 5,672 世帯)	
平. 13.	9.	2	町長査閲第 8 回久御山町消防団消防訓練大会開催	
	9.	28	小型消防ポンプ	第 1 分団第 5 部に更新配置
	10.	9	救急救命士養成に救急救命東京研修所へ消防職員 1 名研修派遣	
	12.	4	化学消防ポンプ自動車更新配置 (I 型) モリタ	
平. 14.	4.	1	消防職員 2 人採用	職員数 3 8 人
	7.	1	救急救命士 1 名誕生	
	10.	1	消防大学校幹部研修科 消防職員 1 名研修派遣	
	12.	1	小型消防ポンプ 2 台	第 1 分団第 2 部に更新配置 第 2 分団第 4 部に更新配置
	12.	5	高規格救急車配置 ニッサン (2Bからの更新)	
平. 15.	3.	28	第二京阪道路 (巨椋池 I C から枚方東 I C まで) 消防相互応援協定締結	
			京滋バイパス (巨椋 I C から大山崎 I C まで) 消防相互応援協定締結	
	3.	30	第二京阪道路供用開始	
	4.	1	消防団 副分団長 各分団 2 名制導入	
	8.	10	京滋バイパス (巨椋 I C から大山崎 I C まで) 供用開始	
	9.	11	救急救命士養成に京都市救急教育センターへ消防職員 1 名研修派遣	
	12.	28	小型消防ポンプ 2 台	第 1 分団第 3 部に更新配置 第 2 分団第 2 部に更新配置
平. 16.	1.	21	広報車更新配置 ダイハツ	
	4.	1	7 代団長 野村修三氏 消防職員 1 人採用	職員数 3 8 人
	7.	1	救急救命士 1 名誕生	
	7.	20	指令車更新配置 ニッサン	
	10.	17	久御山町消防本部 (署) 発足 3 0 周年久御山町消防団発足 5 0 周年記念式典開催	
			小型消防ポンプ 1 台	第 2 分団第 5 部に更新配置
	12.	18	I P 電話からの「119」受信運用開始	
平. 17.	4.	1	消防職員 2 人採用	職員数 3 8 人
	4.	5	救急救命士養成に救急救命九州研修所へ消防職員 1 名研修派遣	
	6.	18	京都南道路供用開始	

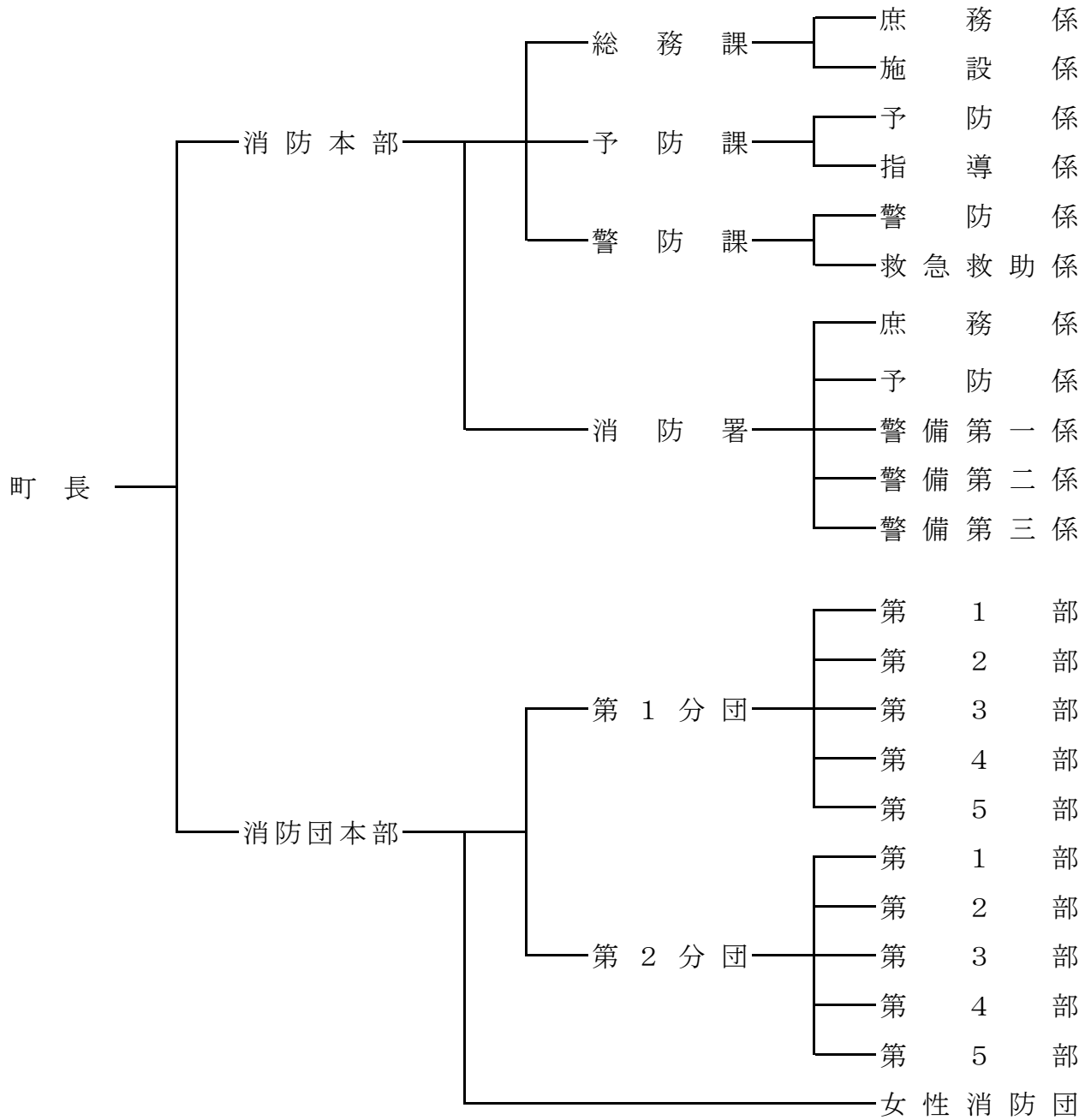
平. 17.	6.	28	久御山町消防庁舎耐震補強工事及び付帯その他改修工事開始	
	10.	1	国勢調査（人口 16,610人 5,818世帯）	
	11.	3	久御山町消防団 京都府知事表彰調査 町長査閲第9回久御山町消防団消防訓練大会開催	
平. 18.	1.	1	救急救命士 1名誕生	
	1.	29	久御山町消防団京都府知事機関表彰旗受章	
	2.	28	久御山町消防庁舎耐震補強工事及び付帯その他改修工事完了	
	2.	1	携帯電話からの「119」直接受信運用開始	
	4.	1	6代消防長 村田隆広氏 8代団長 宮川繁美氏 消防職員1人採用	職員数38人
	8.	4	資機材搬送車更新配置 三菱キャンター	
	12.	23	小型消防ポンプ 2台	第1分団第1部に更新配置 第2分団第2部に更新配置
平. 19.	1.	1	消防・救急指令装置更新配置	
	9.	2	町長査閲第10回久御山町消防団消防訓練大会開催	
平. 20.	4.	1	消防職員1人採用	職員数39人
	8.	28	救急救命士養成に京都市救急教育訓練センターへ消防職員1名研修派遣	
平. 21.	4.	1	消防職員1人採用	職員数39人
	6.	1	救急救命士 1名誕生	
	6.	15	消防大学校総合教育幹部科（第16期）消防職員1名研修派遣	
	9.	6	町長査閲第11回久御山町消防団消防訓練大会開催	
平. 22.	3.	11	携帯電話・IP電話等対応簡易型位置情報受信システム導入	
	3.	29	高規格救急車更新配置 トヨタハイエース	
	4.	1	消防職員4人採用	職員数39人
平. 23.	4.	1	7代消防長 山田清文氏 消防職員2人採用	職員数37人
	8.	22	消防大学校予防科（第90期）消防職員1名研修派遣	
	9.	4	町長査閲第12回久御山町消防団消防訓練大会開催	
	10.	1	国勢調査（人口 15,914人 5,870世帯）	
平. 24.	4.	1	9代団長 久乗清和氏 消防職員3人採用	職員数39人
	8.	28	17代久御山町長 信貴康孝氏	
平. 25.	4.	1	消防職員4人採用	職員数39人
	9.	1	町長査閲第13回久御山町消防団消防訓練大会開催	
	8.	22	救急救命士養成に京都市消防学校へ消防職員1名研修派遣	
平. 26.	2.	1	消防救急デジタル無線更新配置	
	3.	1	消防救急指令装置更新配置	
	4.	1	消防職員3人採用	職員数39人
	5.	15	救急救命士 1名誕生	
	8.	20	救急救命士養成に京都市消防学校へ消防職員1名派遣	
平. 27.	3.	1	可搬式小型消防ポンプ一式 2台	第2分団第1部に更新配置 第2分団第3部に更新配置
	3.	5	消防大学校新任教官科（第8期）消防職員1名研修派遣	
	4.	1	8代消防長 森保彦氏 京都府立消防学校教官 消防職員1名派遣	
	5.	15	救急救命士 1名誕生	
	6.	15	消防大学校幹部科（第41期）消防職員1名派遣	
	8.	30	町長査閲第14回久御山町消防団消防訓練大会開催	
	10.	1	国勢調査（人口 15,819人 6,197世帯）	
	10.	10	小型消防ポンプ搬送車購入（2台）ダイハツHIJET 4WD	第1分団第2部に配置 第2分団第5部に配置
平. 28.	4.	1	消防職員3人採用	職員数38人

平. 28.	11.	13	小型消防ポンプ搬送車購入（2台）ダイハツHIJET 4WD	第1分団第1部に配置 第2分団第1部に配置
	11.	25	高規格救急車更新配置 トヨタハイエース	
平. 29.	4.	1	消防職員1人採用	職員数37人
	8.	23	救急救命士養成に京都市消防学校へ消防職員1名派遣	
	8.	27	町長査閲第15回久御山町消防団消防訓練大会開催	
	10.	18	可搬式小型消防ポンプ一式 2台	第1分団第4部に更新配置 第2分団第3部に更新配置
平. 30.	3.	11	小型消防ポンプ搬送車購入（2台）ダイハツHIJET 4WD	第1分団第3部に配置 第2分団第4部に配置
	4.	1	10代団長 村田和弘氏 消防職員2人採用	職員数36人
平. 31.	3.	7	消防ポンプ自動車配置（CD-1）モリタ	
	3.	16	小型消防ポンプ搬送車購入（2台）ダイハツHIJET 4WD	第2分団第2部に配置 第2分団第3部に配置
	3.	30	消防団第2分団第3部	消防器具庫移設新築
	4.	1	消防職員1人採用	職員数36人
令. 元.	8.	25	町長査閲第16回久御山町消防団消防訓練大会開催	
令. 2.	2.	1	可搬式小型消防ポンプ一式 1台	第1分団第5部に更新配置
	3.	17	救助工作車配置 モリタ	
	4.	1	消防職員2人採用	職員数37人
	10.	1	国勢調査（人口 15,280人 6,246世帯）	
	10.	24	小型消防ポンプ搬送車購入（2台）ダイハツHIJET 4WD	第1分団第4部に更新配置 第1分団第5部に更新配置
	11.	15	可搬式小型消防ポンプ一式 2台	第1分団第2部に更新配置 第2分団第4部に更新配置
令. 3.	4.	1	9代消防長 内座元巳氏	

過去の主な災害等

年 月 日	災 害 等
昭. 28. 9. 24 9. 25	台風13号災害 宇治川左岸堤防決壊当地域全域にわたり、大洪水に見舞われる
昭. 32. 6. 26	台風5号来襲（冠水166町歩、浸水27町歩）
昭. 34. 8. 13	台風7号による集中豪雨で巨椋池冠水 500haの水稲全滅
昭. 34. 9. 25	台風15号（伊勢湾台風）来襲
昭. 36. 9. 16	台風18号（第二室戸台風）来襲により民家、公共物等大被害を受ける
昭. 37. 1. 1	元日火災 民家全焼
昭. 42. 1. 19	作業場火災 死者1人
昭. 49. 9. 12	国道1号上り線において、タンクローリー車（ガソリン14,000ℓ満載）横転するも大惨事免れる
昭. 52. 4. 24	中高層建物火災（住宅公団）
昭. 52. 9. 2	未明レストラン全焼 損害額47,129千円
昭. 53. 5. 27	民家全焼 死者1人
昭. 53. 6. 4	未明雨中3事業所4棟全焼 焼損面積1,138.56㎡ 損害額62,697千円
昭. 55. 11. 28	民家全焼 死者1人
昭. 57. 4. 25	倉庫火災 焼損面積330㎡ 損害額95,816千円
昭. 57. 5. 13	宇治川において幼女水難事故発生
昭. 57. 8. 2	台風10号来襲 宇治川大増水により堤防の各所において漏水、水防活動を実施
昭. 58. 11. 18	事業所及び民家全焼 焼損面積324㎡ 損害額55,746千円
昭. 58. 12. 14	アパートにおいて、LPガス爆発 負傷者1人
昭. 59. 10. 20	作業所全焼 焼損面積1,001㎡ 損害額91,329千円
昭. 61. 7. 21	集中豪雨により冠水 水田 173.5ha 畑 50.2ha
昭. 62. 6. 24	特殊可燃物取扱工場5棟全焼 焼損面積1,505㎡ 損害額150,437千円
昭. 63. 6. 10	特殊可燃物取扱工場全焼 焼損面積7,863㎡ 損害額973,815千円
平. 7. 1. 17	阪神・淡路大震災〔兵庫県南部地震〕（京都一震度5）
平. 11. 2. 18	共同住宅全焼 死者1人
平. 13. 4. 4	宇治川において幼児水難事故発生
平. 14. 11. 20	中高層建物火災（住宅公団） 負傷者3人
平. 15. 8. 17	中高層建物火災（府営団地）
平. 16. 2. 14	大規模その他火災 焼損面積3,500㎡
平. 17. 8. 30	車両火災 死者1名
平. 17. 12. 31	一般住宅全焼 死者1名
平. 19. 11. 17	京滋バイパス下り線 交通事故による車両火災 死者1名
平. 22. 2. 5	その他火災 死者1名
平. 22. 9. 5	その他火災 死者1名
平. 24. 8. 14	京都府南部集中豪雨により各所において、浸水被害を受け水防活動を実施
平. 25. 9. 16	台風18号による古川右岸越水のため水防活動を実施
平. 29. 10. 23	台風21号による木津川水位の上昇により、堤防周辺の田圃内において漏水、水防活動を実施
平. 30. 6. 18	大阪府北部の地震（久御山町一震度5強）
平. 30. 9. 4	台風21号来襲において民家、農産施設等に被害を受ける 負傷者4人
平. 31. 2. 3	建物火災（事業所） 焼損面積504㎡ 損害額216,064千円

久御山町消防の組織機構



久御山町消防の事務分掌

[消防本部]

総務課	庶務係	消防本部の組織に関する事。 消防の総合的企画に関する事。 公印の保管に関する事。 人事及び給与に関する事。 庶務及び予算に関する事。 福利厚生に関する事。 研修に関する事。 監察に関する事。 消防団に関する事。 その他他の所管に属さない事。
	施設係	消防庁舎及び消防器具庫の整備保全に関する事。 消防機械器具及び消防装備の整備計画に関する事。 消防機械器具及び消防装備の整備保全に関する事。 消防通信施設の整備保全及び操作技術に関する事。 消防施設の建設維持管理に関する事。
予防課	予防係	火災の予防に関する事。 消防広報及び相談に関する事。 火災警報及び火災注意報の発令に関する事。 防火運動に関する事。 防火管理者の育成指導に関する事。 危険物保安監督者の指導に関する事。 事業所等の予防査察及び防火指導に関する事。 事業所等の消防訓練指導等に関する事。
	指導係	危険物製造所等の許認可に関する事。 危険物及び指定可燃物に関する事。 建築物の確認同意事務に関する事。 消防用設備等の設置指導に関する事。 液化石油ガス、都市ガス、その他特殊なガスの防火指導に関する事。 火薬その他特殊な物質の防火に関する事。
警防課	警防係	水害、火災及び地震等の警戒防ぎよに関する事。 火災の原因及び損害の調査に関する事。 災害警備計画に関する事。 消防訓練に関する事。 一般住宅等の予防査察及び防火指導に関する事。 消防地水利の整備計画及び開発に関する事。 火災報告及び火災記録の保存に関する事。 火災等統計に関する事。
	救急救助係	救急及び救助対策に関する事。 救急隊及び救助隊の運用に関する事。 救急技術の指導及び救急訓練に関する事。 救助技術の指導及び救助訓練に関する事。 救急救助統計に関する事。

[消防署]

庶務係	庶務に関する事。 その他他の所管に属さない事。
予防係	予防査察その他防火指導に関する事。 消防広報及び相談に関する事。
警備第一係 警備第二係 警備第三係	災害の警戒及び防ぎよに関する事。 火災の原因及び損害の調査に関する事。 災証明等に関する事。 消防訓練指導及び防火指導に関する事。 消防指令に関する事。 署内外勤務の実施計画に関する事。 救急業務に関する事。 救助業務に関する事。 一般住宅等の査察に関する事。 災害に関する気象の予報及び警報の通報に関する事。 地水利に関する事。 消防器具及び通信施設の保全並びに取扱いに関する事。

久御山町消防費予算

(単位：千円)

年 度	一般会計予算額	消防費	構成比 (%)
平成29年	7,387,000	394,419	5.3%
30	7,110,000	470,808	6.6%
令和元年	7,330,000	490,451	6.7%
2	7,580,000	391,540	5.2%
3	7,554,000	373,961	5.0%

(単位：千円)

年 度	消防費	常備消防費		非常備消防費		消防施設費	
	予算額	予算額	構成比 (%)	予算額	構成比 (%)	予算額	構成比 (%)
平成29年	394,419	308,304	78.2	20,254	5.1	65,861	16.7
30	470,808	308,945	65.6	19,294	4.1	142,569	30.3
令和元年	490,451	309,005	63.0	19,981	4.1	161,465	32.9
2	391,540	313,613	80.1	19,540	5.0	58,387	14.9
3	373,961	308,829	82.6	24,524	6.5	40,608	10.9

消 防 職 員 の 配 置 状 況

(令和3年4月1日現在)

区 分	計	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
計	36	1	5	6	7	9	8
消 防 長	1	1					
次 長	1		1				
総 務 課	1		1				
庶 務 係	6			1	2	1	2
施 設 係	4			1	1	1	1
予 防 課	1		1				
予 防 係	3			1	1	1	
指 導 係	8			1	1	5	1
警 防 課	1		1				
警 防 係	6			1	1	1	3
救 急 救 助 係	3			1	1		1
消 防 署	消 防 署 長	1		1			
	署 長 補 佐	(3)		(3)			
	庶 務 係	(6)		(1)		(2)	(1)
	予 防 係	(9)		(1)		(2)	(5)
	警 備 第 一 係	⑩			②	②	④
	警 備 第 二 係	⑨			②	④	①
	警 備 第 三 係	⑩			②	①	③

※ () : 兼務 ○ : 当直兼務

消防職員の勤続年数別・年齢別状況

(令和3年4月1日現在)

区 分	計	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
条 例 定 員	40						
勤 続 年 数 別	36	1	5	6	7	9	8
5 年 未 満	6						6
5 年 ～ 9 年	10				2	6	2
1 0 年 ～ 1 4 年	8	1			4	3	
1 5 年 ～ 1 9 年	6		1	4	1		
2 0 年 ～ 2 4 年	3		2	1			
2 5 年 ～ 2 9 年	1			1			
3 0 年 ～ 3 4 年	2		2				
3 5 年 以 上	0						
年 齢 別	36	1	5	6	7	9	8
2 0 歳 未 満	0						
2 0 歳 ～ 2 4 歳	5						5
2 5 歳 ～ 2 9 歳	4					2	2
3 0 歳 ～ 3 4 歳	10				2	7	1
3 5 歳 ～ 3 9 歳	4				4		
4 0 歳 ～ 4 4 歳	6		1	4	1		
4 5 歳 ～ 4 9 歳	2		1	1			
5 0 歳 ～ 5 4 歳	3		2	1			
5 5 歳 以 上	2	1	1				

※ 吏員平均年齢：36.1歳

消防団員の勤続年数別・年齢別状況

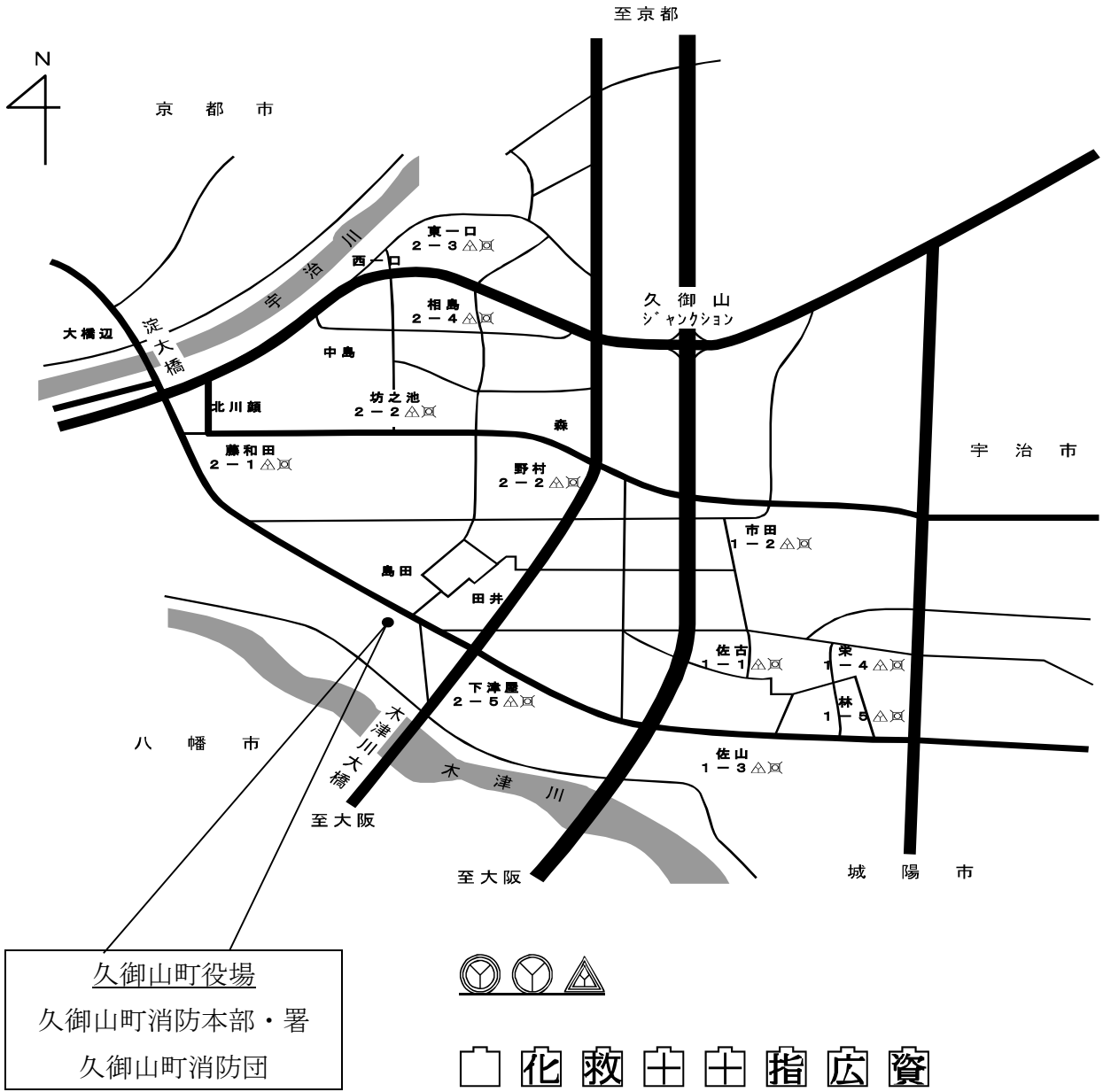
(令和3年4月1日現在)

区分	合計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
条例定員	195							
実員	192(10)	1	2	2	4	11(1)	35(2)	137(7)
団本部	3	1	2					
第1分団	86			1	2	5	15	63
第2分団	93			1	2	5	18	67
女性消防団	10					1	2	7
勤続年数別	192(10)	1	2	2	4	11(1)	35(2)	137(7)
5年未満	44(6)						5	39(6)
5年～9年	56(3)					5	15(2)	36(1)
10年～14年	37				1	2	9	25
15年～19年	31				2	3	5	21
20年～24年	16(1)		1	2	1	1(1)	1	10
25年～29年	5							5
30年以上	3	1	1					1
年齢別	192(10)	1	2	2	4	11(1)	35(2)	137(7)
20歳未満								
20歳～24歳	15						3	12
25歳～29歳	31(2)					2	2	27(2)
30歳～34歳	38					4	10	24
35歳～39歳	35			1	1	2	8	23
40歳～44歳	32(2)		1		2	2(1)	6(1)	21
45歳～49歳	27(4)			1	1	1	5(1)	19(3)
50歳～54歳	11(2)	1	1				1	8(2)
55歳以上	3							3

※ 団員平均年齢 36.7歳(女性含む)

()内：女性消防団

消防車両等配置状況



	久御山町消防本部		ポンプ車		指令車
	久御山町消防署		化学車		広報車
	久御山町消防団本部		救助工作車		資機材搬送車
	消防団・器具庫		高規格救急車		小型消防ポンプ

消 防 車 両 等 の 状 況

[消防署]

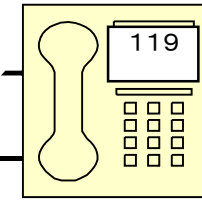
車 両 等 名	配置年月	ポンプ級	排気量 L	車長 m	総重量 kg	燃料
消防ポンプ自動車	平31. 3	A-2	4.00	5.84	7,105	軽油
化学消防ポンプ自動車	平13.12	〃	7.96	7.4	9,410	〃
救助工作車	令2. 3	〃	5.12	7.98	11,990	〃
高規格救急自動車	平28.11	—	2.69	5.65	3,175	ガソリン
非常用高規格救急自動車	平22. 3	—	2.69	5.62	3,185	ガソリン
指令車	平16. 7	—	3.49	4.81	2,500	〃
広報車	平16. 1	—	0.65	3.39	1,410	〃
資機材搬送車	平18. 8	—	2.97	4.74	3,805	軽油

[消防団]

車両等名	配置 分団部	配置年月	ポンプ級	搬送用車両等 (排気量L)(車長)(配置年月)
小型消防ポンプ	1-1	平18. 12	B-3	軽トラック(0.65)(3.40m)(平28.11)
〃	1-2	令2. 11	〃	軽トラック(0.65)(3.39m)(平27.10)
〃	1-3	平15. 12	〃	軽トラック(0.65)(3.39m)(平30.3)
〃	1-4	平29. 10	〃	軽トラック(0.65)(3.40m)(R2.10)
〃	1-5	令2. 2	〃	軽トラック(0.65)(3.40m)(R2.10)
〃	2-1	平27. 3	〃	軽トラック(0.65)(3.40m)(平28.11)
〃	2-2	平15. 12	〃	軽トラック(0.65)(3.39m)(平31.3)
〃	〃	平18. 12	〃	台 車
〃	2-3	平29. 10	〃	軽トラック(0.65)(3.39m)(平31.3)
〃	2-4	令2. 11	〃	軽トラック(0.65)(3.39m)(平30.3)
〃	2-5	平16. 10	〃	軽トラック(0.65)(3.39m)(平27.10)

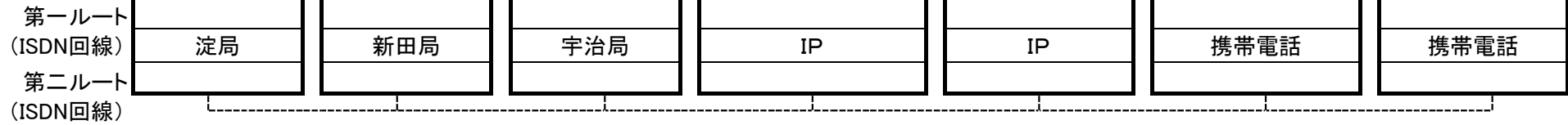
通信系統図

1階 指令室内

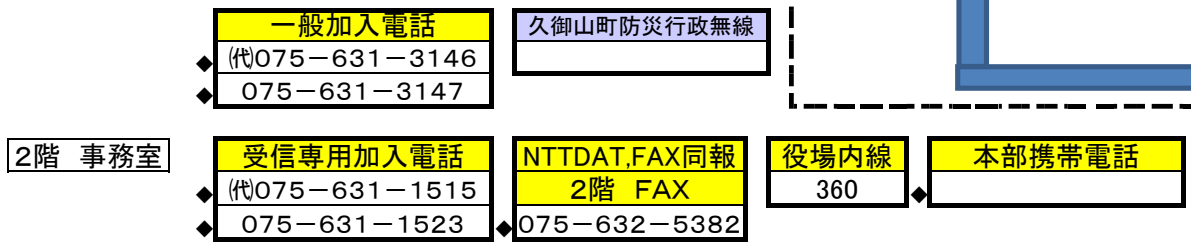
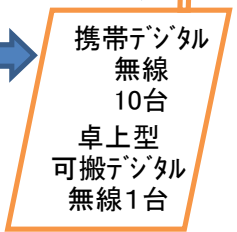
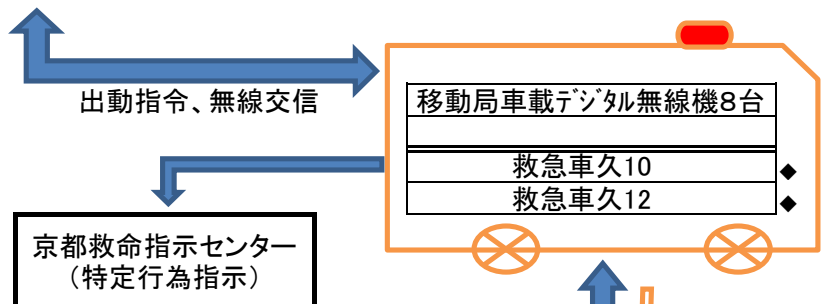
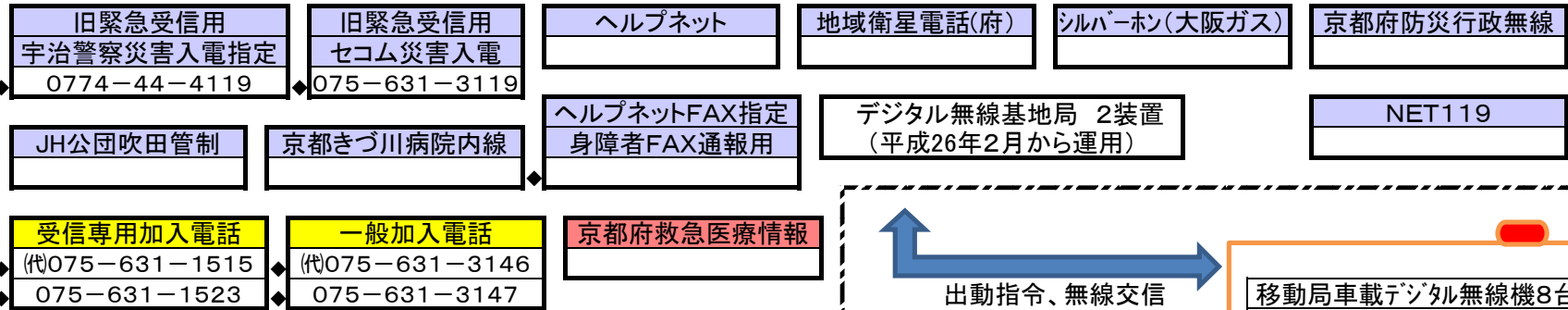


位置情報通知システム(統合型)指令装置

119 (固定・IP・携帯電話)入電



第三ルート (アナログ回線) 回線 第一、第二ルート不通時の回線



防火対象物の状況

(令和3年4月1日現在)

政令別 表区分	防火対象物の別	対象物 数	階数別		甲種防火管理 該当対象物	乙種防火管理 該当対象物
			1～4 階	5階 以上		
(1)	イ	劇場、映画館等	0			
	ロ	公会堂、集会場	22	22		
(2)	イ	キャバレー、カフェ等	0			
	ロ	遊技場、ダンスホール	1	1		1
	ハ	風俗営業店等	0			
	ニ	カラオケボックス等	1	1		1
(3)	イ	待合、料理店等	0			
	ロ	飲食店	23	22	1	6
(4)		百貨店、マーケット、店舗等	61	61		10
(5)	イ	旅館、宿泊所等	3	3		2
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	153	77	76	11
(6)	イ	病院、診療所等	8	6	2	2
	ロ	特別養護老人ホーム等	8	7	1	6
	ハ	老人デイサービスセンター等	17	17		7
	ニ	幼稚園、特別支援学校	0			
(7)		小学校、中学校、各種学校等	14	14		6
(8)		図書館、博物館、美術館等	0			
(9)	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場等	0			
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	0			
(10)		車両の停車場等	0			
(11)		神社、寺院、教会等	18	18		
(12)	イ	工場、作業場	684	681	3	39
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ	0			
(13)	イ	自動車車庫、駐車場	23	23		
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫	1	1		
(14)		倉庫	265	263	2	11
(15)		前各項に該当しない事業所	185	184	1	12
(16)	イ	特定防火対象物を含む複合用途防火対象物	54	51	3	25
	ロ	イに掲げる以外の複合用途防火対象物	38	37	1	2
(16-2)		地下街	0			
(16-3)		建築物の地階で連続して地下道に面して設けられたものと当該地下道とを合わせたもの	0			
(17)		文化財等	1	1		
(18)		50メートル以上のアーケード	0			
(19)		市町村長の指定する山林	0			
(20)		総務省令で定める舟車	0			
		計	1580	1490	90	141
						21

防火対象物にかかる消防用設備等の設置状況

(150㎡以上)

(令和3年4月1日現在)

政令別 表区分	対象 物数	消 火 設 備				警 報 設 備			避 難 設 備		連 結 送水管	
		屋内消火 栓設備	スプリン クラー設備	水噴霧 消火設備等	屋外消火 栓設備	自動火災 報知設備	漏電火災 警報器	非常警報 設 備	避 難 器 具	誘導 灯		
(1)	イ	0										
	ロ	22				1		5		5		
(2)	イ	0										
	ロ	1				1		1	1	1		
	ハ ニ	0 1									1	
(3)	イ	0										
	ロ	23		1		5		13	1	15		
(4)	61	3	2			11		24	1	36		
(5)	イ	3	2			3				2		
	ロ	153	5	4		27	2	30	18	13		
(6)	イ	8	1	1	1	4	1	3	2	6	1	
	ロ	8		7		8	1	1	2	8		
	ハ	17				14		1	4	16		
	ニ	0										
(7)	14	10		1		14			12	13		
(8)	0											
(9)	イ	0										
	ロ	0										
(10)	0											
(11)	18											
(12)	イ	684	89	1	7	10	350		1	12	103	1
	ロ	0										
(13)	イ	23			13		2					
	ロ	1			1		1					
(14)	265	55		3	4	139			1	61	3	
(15)	185	5		2		24			2	37		
(16)	イ	54	5	3	2		24		8	7	31	1
	ロ	38	8		2		33		9	4	13	
(16-2)	0											
(16-3)	0											
(17)	1					1						
(18)	0											
(19)	0											
(20)	0											
計	1580	183	14	37	14	663	4	96	67	361	6	

危険物施設の状況

[完成検査済施設]

(令和3年4月1日現在)

	製造所	貯蔵所							取扱所				合計	
		屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	第一種販売	第二種販売	一般		
[数量の倍数別] 計	0	45	1	1	28	0	26	2	37	1	1	18	160	
5 倍 以下		18			5		6	2				7	38	
5倍を超え 10倍以下		7	1	1	5		1		3	1		6	25	
10倍を超え 50倍以下		9			10		5		19		1	4	48	
50倍を超え 100倍以下		2			4		7		1			1	15	
100倍を超え 150倍以下		8			4		7		3				22	
150倍を超え 200倍以下		1							1				2	
200倍を超え1,000倍以下									10				10	
1,000倍を超え 5,000倍以下													0	
5,000倍を超え10,000倍以下													0	
10,000倍を超えるもの													0	
[類別] 計	0	45	1	1	28	0	26	2	37	1	1	18	160	
単 独	第 1 類		1										1	
	第 2 類												0	
	第 3 類												0	
	第 4 類	0	40	1	1	28		26	2	37	1	1	18	155
	第 5 類		1											1
	第 6 類													0
混 在		3											3	

※ 事業所数：100

火災統計〔年別火災概要〕

(平成28年～令和2年)

区 分		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	5年間の平均
火災件数 (件)	計	4	6	12	4	11	7.4
	建物	4	5	5	3	5	4.4
	車両	0	0	4	1	3	1.6
	その他	0	1	3	0	3	1.4
損害額 (千円)	計	347	33,362	83,412	217,232	16,055	70,081.6
	建物	347	33,353	81,086	216,709	13,767	69,052.4
	車両	0	0	413	523	992	385.6
	その他	0	9	1,913	0	1,296	643.6
焼損面積 (㎡)	床面積	19	356	1,009	504	80	393.6
	表面積	0	15	673	0	22	142.0
	その他	0	1	1,525	0	595	424.2
焼損棟数 (棟)	全焼	0	2	2	0	0	0.8
	半焼	0	2	1	0	0	0.6
	部分焼	1	1	2	1	3	1.6
	ぼや	3	2	4	2	3	2.8
り災世帯数 (世帯)	全損	0	2	1	0	0	0.6
	半損	0	1	0	0	0	0.2
	小損	0	0	1	1	1	0.6
り災人員(人)		0	9	2	2	5	3.6
死傷者 (人)	死者	0	0	0	0	0	0.0
	負傷者	0	0	1	1	8	2.0
出火率(件/人口1万人)		2.5	3.8	7.6	2.5	7.0	4.7

救急統計〔年別救急概要〕

(平成28年～令和2年)

区 分		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	5年間の平均	
救急出動件数		1,208	1,238	1,306	1,295	1,135	1,236.4	
事故種別	火 災	0	0	0	1	0	0.2	
	自然災害	0	0	5	0	0	1.0	
	水 難	1	0	0	1	1	0.6	
	交 通	283	275	287	231	202	255.6	
	労働災害	37	38	37	37	33	36.4	
	運動競技	16	6	13	11	4	10.0	
	一般負傷	171	176	146	214	212	183.8	
	加 害	6	6	4	5	5	5.2	
	自損行為	8	9	2	5	5	5.8	
	急 病	653	683	765	742	635	695.6	
	その他	転院搬送	28	38	40	43	31	36.0
		医師搬送	0	0	0	0	0	0.0
		資材搬送	0	0	0	0	0	0.0
その他		5	7	7	5	7	6.2	
搬送件数		1,144	1,165	1,227	1,204	1,039	1,155.8	
搬送人員		1,179	1,202	1,250	1,227	1,062	1,184.0	
不搬送件数		64	73	79	91	96	80.6	
1ヶ月平均出動件数		100.7	103.2	108.8	107.9	94.6	103.0	
1ヶ月平均搬送人員		98.3	100.2	104.2	102.3	88.5	98.7	
管轄外出動件数		15	19	15	16	5	14.0	

救助統計〔年別救助概要〕

(平成28年～令和2年)

区 分		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	5年間の平均	
事 故 種 別	火 災	救助出動件数	0	1	1	1	1	0.8
		救助件数	0	0	1	1	1	0.6
		救助人員	0	0	1	0	0	0.2
	交 通 事 故	救助出動件数	7	11	8	5	4	7.0
		救助件数	5	8	4	4	3	4.8
		救助人員	5	12	4	4	3	5.6
	水 難 事 故	救助出動件数	2	2	4	1	4	2.6
		救助件数	2	1	3	1	2	1.8
		救助人員	2	0	0	0	0	0.4
	自 然 災 害	救助出動件数	0	0	3	0	0	0.6
		救助件数	0	0	2	0	0	0.4
		救助人員	0	0	2	0	0	0.4
	機 械 に よ る 事 故	救助出動件数	0	2	1	0	0	0.6
		救助件数	0	1	0	0	0	0.2
		救助人員	0	1	0	0	0	0.2
	建 物 等 に よ る 事 故	救助出動件数	8	12	9	9	11	9.8
		救助件数	1	10	8	8	6	6.6
		救助人員	1	10	6	8	6	6.2
	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	救助出動件数	0	2	1	0	0	0.6
		救助件数	0	2	0	0	0	0.4
		救助人員	0	2	0	0	0	0.4
破 裂 事 故	救助出動件数	0	0	0	0	0	0.0	
	救助件数	0	0	0	0	0	0.0	
	救助人員	0	0	0	0	0	0.0	
そ の 他	救助出動件数	3	4	7	4	3	4.2	
	救助件数	2	3	4	4	2	3.0	
	救助人員	2	3	4	3	2	2.8	
合 計	救助出動件数	20	34	34	20	23	26.2	
	救助件数	10	25	22	18	14	17.8	
	救助人員	10	28	17	15	11	16.2	

消 防 水 利 の 状 況

(令和3年4月1日現在)

水 利 種 別			
消火栓	基 準	272	
	そ の 他	232	
防火水槽	公 設	40 m ³	69
	私 設	100 m ³ 以上	12
		40～100 m ³ 未満	136
		20～40 m ³ 未満	20
その他	プ ー ル	7	
	そ の 他	16	
合 計		764	